

## 鎌倉駅周辺地区都市再生整備計画事後評価(原案)の概要について

2014.10.31

### ■ 事後評価(原案)の概要について

鎌倉市では、平成 22～26 年度にかけて社会資本整備総合交付金を活用し、鎌倉駅周辺地区の歩行者を中心とした交通環境の改善及び観光客をはじめとした来訪者をもてなす環境整備のために、都市再生整備計画事業を行ってきました。

この度、事業終了年度に際し、交付金を活用したまちづくりの事後評価を実施し、まちづくりの成果や今後のまちづくりの方針などを確認するため、事後評価シート(原案)を作成し、別途とりまとめています。その主な項目は以下のようになっています。

### ■ 鎌倉駅周辺地区のまちづくりの概要

計画事業：社会資本総合整備計画・鎌倉駅周辺地区都市再生整備計画

区域面積：720ha

事業期間：平成 22 年度～平成 26 年度

事業費：710(百万円)

### まちづくりの目標

鎌倉駅周辺のまちづくりを進めるにあたって、以下のようなまちづくりの目標をたてました。

豊かな歴史的遺産と身近な山並み、青い海などの良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の顔づくりを市民との協働による再創造の更なる推進を図る。

○駅周辺において、観光客をはじめとした来訪者を温かくもてなす快適な環境整備を図る。

○駅から主要観光スポット・公共施設までの改善を実施し、市民及び来訪者が安全で安心して歩ける歩行者空間の更なる改善を図る。

## 事業の概要

### ① あんしん歩行エリアの整備（市道008-000号線：今小路通り、市道001-059号線：鎌倉警察署北側道路、市道001-065号線：郵便局南側道路）

鎌倉の地域特性である狭小な道路幅員の中で、車と歩行者の通行空間をわかりやすく、歩行者空間にカラー舗装を施すことで、安全・安心な歩行者空間を確保しました。

#### ・市道008-000号線：今小路通り（平成22～23年度）



#### ・市道001-059号線：鎌倉警察署北側道路（平成24年度）



#### ・市道001-065号線：郵便局南側道路（平成25年度）



↑歩行者空間にカラー舗装を施すことで、安全・安心な歩行者空間を確保しました。

② 電線類の地中化事業（市道032-000号線：小町通り）（平成22～24年度）

鶴岡八幡宮への観光客の主要動線である小町通りの電線類の地中化事業を実施し、歩行者空間の改善及び景観に配慮したまち並みを形成しました。

③ 景観舗装等事業（市道032-000号線：小町通り）（平成22～24年度）

鶴岡八幡宮への観光客の主要動線である小町通りの景観舗装を実施し、景観に配慮したまち並みを形成しました。



↑ 電柱の地中化により歩行者空間が改善され、景観舗装と合わせ、景観に配慮したまち並みとなりました。

④ 公共トイレ整備事業（寿福寺）（平成22年度）

公衆トイレをユニバーサルデザイン化することで、障害のある方や外国人観光客にとっても使いやすいトイレを確保しました。



↑ 多目的トイレの設置などユニバーサルデザイン化され、障害のある方にも使いやすいトイレとなりました。

⑤ 公衆トイレユニバーサルデザイン化事業（鶴岡八幡宮休憩所内、荏柄天神社、光明寺、浄光明寺）

公衆トイレをユニバーサルデザイン化することで、障害のある方や外国人観光客にも使いやすいトイレを確保しました。

・ 鶴岡八幡宮休憩所内公衆トイレ（平成23年度）



・ 荏柄天神社公衆トイレ（平成24年度）



↑ 和式から洋式に変更され、外国人観光客にも使いやすいトイレとなりました。



・光明寺公衆トイレ（平成25年度）



↑多目的トイレやスロープを設置しました。

・浄光明寺公衆トイレ（平成26年度）



事業後イメージ（平成27年3月竣工予定）

↑工事完了後、ユニバーサルデザイン化され、障害のある方や外国人観光客にも使いやすいトイレとなります。

## ■ 事後評価の概要

事業の最終年度にあたり、事業の評価の結果は以下のようになっています。

### 指標の達成状況

#### ① 当初指標の結果

計画の中で設定した数値指標の達成状況は、以下の通りです。

毎年実施している観光客へのアンケート及び市民意識調査の質問項目のうち、観光客の満足度（指標1）、安全・安心な歩行者空間に関する満足度（指標2）及び良好な都市景観形成に関する満足度（指標3）に対する回答結果を指標に設定しています。

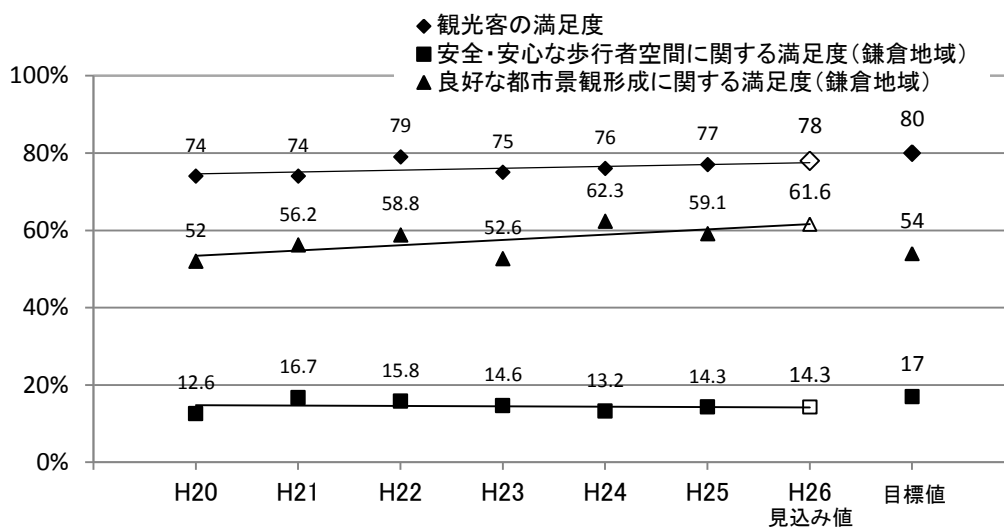
- ・指標1について、目標値には達しなかったものの、ほぼ目標値に近づいているため、達成度△としました。
- ・指標2について、目標値には達しなかったものの、数値はやや向上しているため、達成度は△としました。
- ・指標3について、市民の皆様の満足度の数値は向上し、目標値を達成することが出来ましたので、達成度は○としました。

指標名	従前値 (H20)	目標値 (H26)	直近の実績値 (H25)	評価値 <sup>※1</sup> (H26 見込)	達成度 <sup>※2</sup>
指標1 観光客の満足度	74%	80%	77%	78%	△
指標2 安全・安心な歩行者 空間に関する満足度	13%	17%	14%	14%	△
指標3 良好な都市景観形成 に関する満足度	52%	54%	59%	62%	○

※1 評価値(見込み値)は平成20年度から平成25年度までの数値をもとに推計したものである。

※2 ○：目標値を上回った場合

△：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向より改善が認められる場合



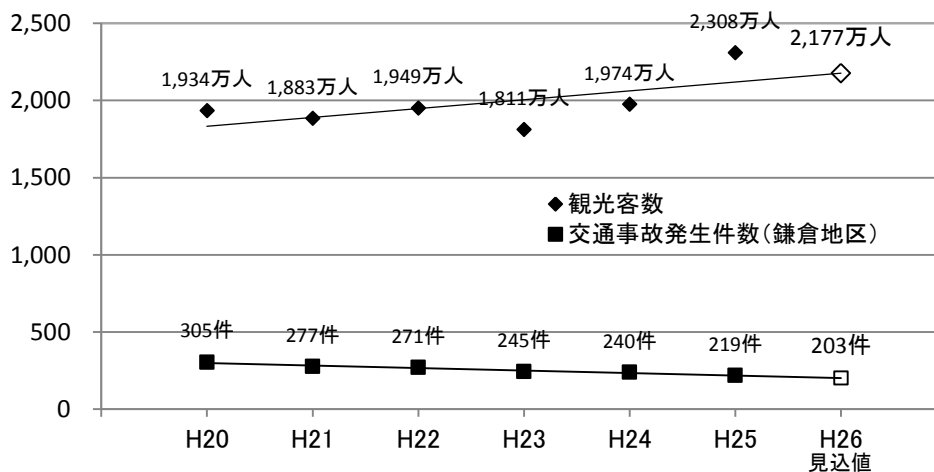
## ②その他の指標の結果

都市再生整備計画で設定した指標について、目標達成状況を確認した結果、観光客満足度（指標1）、安心・安全な歩行空間に関する満足度（指標2）が未達成であると確認されたため、それぞれの指標を補完するための指標（その他の指標）が必要となります。

そこで、以下の指標をその他の指標として設定しました。

指標名	従前値 (H20)	直近の実績値 (H25)	評価値※ (H26 見込)
その他の指標1 観光客数	1,934人	2,308人	2,177人
その他の指標2 交通事故発生件数	305件	219件	203件

※評価値（見込み値）は、平成20年から平成25年までの数値をもとに推計したものである。



データの出所

観光客数：鎌倉市の観光事情（鎌倉市市民活動部観光商工課）

交通事故発生件数：交通安全と事故のしらべ（鎌倉市交通安全対策協議会）

## ③定性的な評価

上記の数値的な評価の他、数値では表せない事業効果を以下にまとめています。

- ・カラー舗装によって、歩行者、ドライバーにとって歩車道の区分がわかりやすくなりました。（あんしん歩行エリアの整備）
- ・電線類の地中化によって、見通しが良くなり、山の稜線が望めるなど良好な景観が形成されました。（電線類地中化事業）
- ・遮熱性をもった舗装としたことで、ヒートアイランド抑制にもつながりました。（景観舗装事業）
- ・公衆トイレのユニバーサルデザイン化で、障害のある方や外国人観光客にも使いやすいトイレが整備され、安心して観光スポットを巡ることができるようになりました。（公衆トイレユニバーサルデザイン化事業）

## まちの課題

今回の事業を踏まえて、どのような課題が残っているかをまとめています。

- ・あんしん歩行エリアの改善整備については、一部達成されたが引き続き未整備部分の事業実施が必要です。
- ・引き続き、ユニバーサルデザインの公衆トイレの整備が必要です。
- ・電線類の地中化により、開放感のある見通しの良い景観となりましたが、既存の電柱がなくなったため、道路上へ出される立看板等が目立つようになり、景観面への影響や違反屋外広告物等に対する対応が必要です。

## 今後のまちづくりについて

今回の事業を踏まえ、今後のまちづくりについてまとめています。

- ・公衆トイレのユニバーサルデザイン化整備を引き続き計画的に実施していきます。
- ・あんしん歩行エリアの整備については、一部区間のみの整備となったため、引き続き未整備部分の事業を実施していきます。
- ・違反屋外広告物については、除却協力員や関係業界等と連携し、違反屋外広告物の除却、移動、撤去指導を継続していきます。

## 今後のスケジュール

今回の事後評価（原案）の公表後、以下のように事後評価作業を進めていきます。

作業項目	日程
都市再生整備計画事業評価委員会における審議	平成 26 年 10 月
事後評価（原案）の公表及び意見募集	平成 26 年 11 月
都市再生整備計画事業評価委員会における審議	平成 27 年 1 月予定
事後評価の国への報告	平成 27 年 3 月予定
事後評価結果の公表	平成 27 年 4 月予定

以上